

平成 28 年度“ふじのくに”づくり白書（静岡県総合計画「後期アクションプラン」の評価）の概要

“ふじのくに”づくりの総仕上げ、「後期アクションプラン」の計画最終年度である平成 29 年度に向けて、的確な改善を行いながら、計画の着実な推進を図るため、数値目標や主な取組などについて、評価を行った。

1 「戦略ごとの具体的取組」の数値目標の達成状況・主な取組(工程表)の進捗状況

戦略（大柱）	数値目標の達成状況							主な取組(工程表)の進捗状況				
	目標値以上	A	B	C	基準値以下	—	計	◎	○	●	計	摘 要
1 「命」を守る危機管理	9	2	7	7	2	0	27	1	43	0	44	◎：土地改良施設の耐震化
2-1 「有徳の人」づくり	4	2	5	19	6	0	36	1	45	1	47	◎：学校支援地域本部設置促進 ●：教員の青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア等への参加促進
2-2 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり	10	2	16	8	8	0	44	2	86	0	88	◎：ICT利活用による地域情報化の促進、外国人観光客案内所の整備・充実の促進
3-1 一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造	3	7	12	5	2	0	29	3	83	0	86	◎：県産材の製材・加工体制の拡充、県産材の公共部門での利用推進、生産力の確保・向上に向けた漁場環境保全
3-2 「和」を尊重する暮らしの形成	5	7	12	10	7	1	42	4	51	2	57	◎：高齢者の消費者被害防止、太陽光発電の導入加速、地域主体の良好な景観形成の促進、住民との協働による河川環境の保全 ●：住宅セーフティネットとしての県営住宅の確保、消費生活に関する情報提供の充実
3-3 「安心」の健康福祉の実現	13	4	7	4	5	7	40	2	113	0	115	◎：精神科患者救急医療体制の確保、自殺対策早期対応の中心的役割を果たす人材の養成
4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり	2	2	3	4	6	2	19	2	32	0	34	◎：農業・農村の付加価値を高める基盤整備の推進、花粉の少ないスギへの転換
4-2 「安全」な生活と交通の確保	6	4	0	1	1	0	12	0	14	1	15	●：暴力団犯罪及び薬物・銃器対策
4-3 地域主権を拓く「行政経営」	8	1	4	3	5	0	21	0	15	0	15	
計 (再掲除く)	60 (60) [23%]	31 (30) [12%]	66 (65) [25%]	61 (61) [24%]	42 (42) [16%]	10 (10)	270 (268)	15 [3.0%]	482 [96.2%]	4 [0.8%]	501 (追加4)	<進捗状況区分> ◎：前倒しで実施 ○：計画どおり実施 ●：計画より遅れており、より一層の推進を要する
平成 27 年度評価(“ふじのくに”づくり白書)	(56) [23%]	(44) [18%]	(51) [20%]	(45) [18%]	(52) [21%]	(20)	(268)	13 [2.6%]	478 [96.2%]	6 [1.2%]	497	

< 数値目標の達成状況区分 >

区 分	達成状況区分の判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
A	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

※ 計画最終年度(平成 29 年度)に目標を達成するものとして、基準値から目標値に向けて各年均等に推移した場合における各年の数値を「期待値」とする。

< 評価・分析 >

- ・数値目標の 60%が目標達成に向けて順調に進捗 (目標値以上・A・B)
- ・主な取組(工程表)の 99.2%が順調に進捗 (497/501 取組)
- ・一方、「C」及び「基準値以下」となっている数値目標は、本格的な回復に至っていない景気動向等の社会経済情勢を背景に、暮らし向きに関する「県民意識」を測る指標などに進捗の遅れが見られるものが多い状況になっている。
- ・「基準値以下」の数値目標は、平成 27 年度評価の 52 指標から 42 指標となり、改善が図られているものの、進捗に遅れが見られる数値目標については、その要因を分析するとともに、施策の改善を図り、“ふじのくに”づくりの総仕上げに向け、一層の取組の強化に努める。

2 「ふじのくに”づくりの戦略体系」の数値目標(基本構想に掲げる目標)の達成状況

戦略体系	目標値以上	A	B	C	基準値以下	—	計	摘要
1 「命」を守る危機管理体制の充実	1	0	1	0	0	0	2	【目標値以上】大規模災害時に必要不可欠な情報の共有化 【 B 】 想定される大規模地震による犠牲者
2 徳のある人材の育成	0	0	1	4	2	0	7	【 B 】 観光交流客数 【 C 】 「文・武・芸」のいずれかの分野において自己を磨く努力をしている人の割合、外国人留学生数、1年間に芸術や文化を鑑賞した人の割合、1年間に芸術や文化の活動を行った人の割合 【基準値以下】「思いやりを持って行動できる有徳の人が増えている」と感じている人の割合、富士山に関心のある人の割合
3 豊かさの実現	1	0	0	5	6	1	13	【目標値以上】年間有効求人倍率 【 C 】 1人当たり県民所得、合計特殊出生率、人口の社会移動、県内総生産、環境保全活動を実践している県民の割合 【基準値以下】静岡県が住みよいところと思っている人の割合、食料自給率、「食」関連産業の県内生産額・販売額、自分が住んでいる地域の景観を誇りに思う県民の割合、「自分の住んでいるまちが子どもを生み、育てやすいところ」と感じている人の割合、自立高齢者の割合
4 自立の実現	5	2	0	0	2	1	10	【目標値以上】交通(人身)事故の年間発生件数、実質公債費比率、県自らがコントロールできる通常債の残高、将来負担比率、県から市町への権限移譲対象法律数 【 A 】 中心都市等への30分行動圏人口カバー率、刑法犯認知件数 【基準値以下】日ごろ生活を営んでいる範囲において都市機能が充足していると感じている人の割合、経常収支比率
計	7 [23%]	2 [7%]	2 [7%]	9 [30%]	10 [33%]	2	32	
平成27年度評価(“ふじのくに”づくり白書)	6 [21%]	4 [14%]	3 [10%]	4 [14%]	12 [41%]	3	32	

< 数値目標の達成状況区分 >

区分	達成状況区分の判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
A	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

※ 計画最終年度(平成29年度)に目標を達成するものとして、基準値から目標値に向けて各年均等に推移した場合における各年の数値を「期待値」とする。

< 評価・分析 >

- ・ **目標達成に向けて順調に進捗** (目標値以上・A・B) **しているのは11指標(37%)**
- ・ 県民所得や出生率、県内総生産などの県民生活に関する指標は、リーマンショック以降徐々に上昇しているものの、消費税率の引き上げや本格的な回復に至っていない景気動向の影響により、大幅な向上なく低迷している。こうした社会経済情勢を背景に、暮らし向きに関する「県民意識」を測る指標も、進捗に遅れが見られる状況にある。

1 「命」を守る危機管理体制の充実	・「地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づく取組の推進により着実に進捗
2 徳のある人材の育成	・観光分野は、富士山、韮山反射炉の世界遺産登録、外国人観光客の増加等により順調に進捗 ・教育や文化に関する「県民意識」を測る指標は、施策の成果の発現に時間を要する傾向にあり、目標設定以降ほぼ横ばいで推移
3 豊かさの実現	・雇用環境が大きく改善し、年間有効求人倍率は目標を達成 ・県民生活に関する指標は徐々に上昇しているものの低迷しており、全国統計でも同様の状況にあるが、県民所得や出生率、県内総生産などは全国平均を上回っている
4 自立の実現	・交通や防犯・警察等の県民の安全に関する取組、財政健全化等の行政経営に関する取組は、全般的に順調に進捗

- ・「基準値以下」の数値目標は、平成27年度評価の12指標から10指標となり、改善が図られているものの、進捗に遅れが見られる数値目標については、その要因を分析するとともに、施策の改善を図り、“ふじのくに”づくりの総仕上げに向け、一層の取組の強化に努める。

3 施策・数値目標の見直し

① 施策の見直し

戦略(大柱)	見直し内容
2-2 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり	2 スポーツに親しみ技量を高める環境づくり (3) スポーツを活用した交流促進 ・「 ○東京オリンピック・パラリンピック自転車競技静岡県開催を活用した交流の促進 」を新たな取組として位置付け ・「 ○ラグビーワールドカップ 2019 の静岡県開催の実現 」に替え、「 ○ラグビーワールドカップ 2019 静岡県開催を活用した交流の促進 」を新たな取組として位置付け
3-3 「安心」の健康福祉の実現	1 安心して子どもを産み育てられる環境整備 (5) すべての子どもが自立できる社会の実現に向けた取組 「 ○子どもの貧困対策の推進 」を新たな取組として位置付け 3 障害のある人の自立と社会参加 (2) 自立と社会参加に向けた総合的支援 「 ○障害を理由とする差別の解消の推進 」を新たな取組として位置付け

② 数値目標の見直し

<変更> 9指標

戦略(大柱)	数値目標名	基準値	目標値
1 「命」を守る危機管理	【変更前】地震防災訓練の参加率(県民意識調査)	(H25) 65.5%	70%
	【変更後】地域防災訓練の参加率(県人口割合)	(H24) 17.8%	20%
2-2 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり	【変更前】観光地の魅力や特徴に満足した人の割合	(H24) 95.1%	100%
	【変更後】観光地の魅力や特徴に大変満足した人の割合	(H24) 32.9%	50%
	【変更前】静岡県の旅行に満足した旅行者の割合	(H24) 97.6%	100%
	【変更後】静岡県の旅行に大変満足した旅行者の割合	(H24) 32.7%	50%
3-1 一流の「ものづくり」と「ものづくり」の創造	【変更前】農ビジネス販売額	(H23) 2,745 億円	3,600 億円
	【変更前】農ビジネス販売額に占めるビジネス経営体販売額シェア	(H23) 24.8%	42%
	【変更後】農業産出額	(H26年) 2,154 億円	2,220 億円
	【変更後】農業生産関連事業の年間販売金額	(H25) 1,074 億円	1,120 億円
3-2 「和」を尊重する暮らしの形成	【変更前】産業廃棄物排出量	(H23) 11,412 kt/年	11,200 kt/年以下
	【変更後】産業廃棄物最終処分率(最終処分量/排出量)	(H25) 1.8%	1.8%以下

戦略(大柱)	数値目標名	基準値	目標値
3-2 「和」を尊重する暮らしの形成	【変更前】新エネルギー等導入率(天然ガスコージェネレーションを含む)	(H24) 7.0%	10%
	【変更後】新エネルギー等導入量(天然ガスコージェネレーションを含む)	(H26) 80 万kℓ	121.5 万kℓ
4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり	【変更前】中山間地域を訪れたいと思う県民の割合	(H25) 71%	75%
	【変更後】中山間地域に住みたい、又は住み続けたいと思う県民の割合	(H25) 33.8%	38%
4-3 地域主権を拓く「行政」経営	【変更前】静岡県の行財政改革の取組に対する県民の認知度	(H26) 21.8%	50%
	【変更後】静岡県行財政改革大綱の数値目標(KPI)の進捗度	(H26) 4/11 目標	全目標の達成

<目標値の上方修正> 12指標

戦略(大柱)	数値目標名	現状値	目標値修正前	目標値修正後
2-1 「有徳の人」づくり	幼稚園・保育所等・小学校・中学校で家庭教育に関する交流会を実施した園・学校数	527 箇所 (目標値以上)	390 箇所	560 箇所
2-2 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり	公共データの民間開放(オープンデータ)項目数	738 項目 (目標値以上)	500 項目	1,000 項目
	外国人延べ宿泊者数	163 万人 (目標値以上)	160 万人	230 万人
	“ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター等への移住相談件数	2,446 件 (目標値以上)	1,100 件	4,800 件
	静岡県の多様なライフスタイルに魅力を感じる首都圏在住者の割合	67.7% (目標値以上)	58%	68%
3-2 「和」を尊重する暮らしの形成	一般廃棄物排出量(1人1日当たり)	902g/人・日 (A)	900g/人・日以下	859g/人・日以下
	県内の太陽光発電の導入量	118.4 万 kW (目標値以上)	100 万 kW	160 万 kW
3-3 「安心」の健康福祉の実現	ふじ33プログラムを活用した健康教室実施市町数	25 市町 (目標値以上)	25 市町	35 市町
4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり	富士山静岡空港周囲部における景観形成箇所数	累計8箇所 (目標値以上)	累計8箇所	累計10箇所
4-2 「安全」な生活と交通の確保	県民の身近で発生する乗り物盗等(9罪種)の認知件数	6,605 件 (目標値以上)	6,800 件以下	5,400 件以下
	サイバー犯罪捜査検定合格者数	3,430 人 (目標値以上)	2,500 人	4,500 人
4-3 地域主権を拓く「行政」経営	県とNPO、地域住民、企業等との協働取組件数	3,484 件 (目標値以上)	2,800 件	5,000 件